JP5301914

Publication number: JP5301914 1993-11-16 Publication date:

Inventor:

WATANABE SHOJI

Applicant:

AGENCY IND SCIENCE TECHN

Classification:

- international:

C08F8/00; C08F8/00; (IPC1-7): C08F299/00; C08F8/00

- сигореал:

C08F8/00

Application number: JP19910077194 19910318 Priority number(s): JP19910077194 19910318

Report a data error here

Abstract of JP5301914

PURPOSE:To obtain a new compound having catlonic polymerization activity and useful as a component of a functional block copolymer to be compounded to an adhesive, etc., to improve the water-resistance, etc., of the adhesive by reacting a polystyryl dianion with 2-iodoethyl vinyl ether. CONSTITUTION: The objective polymer compound of formula II having a number- average molecular weight of 3,000-110,000 can be produced by reacting a polystyryl dianion of formula I n is positive integer) with 2-iodoethyl vinyl ether and adding a medium such as an alcohol to the obtained solution.

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

Best Available Copy

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出顧公問番号

特開平5-301914

(43)公開日 平成5年(1993)11月16日

(51)IntCL⁵ C08F 8/00

庁内整理番号 識別記号 7187-4 J мJD

FΙ

技術表示箇所

// C08F 299/00

7442-4 J MRN

> 醋求項の数3(全 4 頁) 審查請求 有

(21)出顯番号

特頭平3-77194

(71)出願人 000001144

工業技術院長

東京都千代田区霞が関1丁目3番1号

(22)出願日

平成 3年(1991) 3月18日

(72)発明者 渡辺 庄司

茨城県つくば市松代4丁目412棟103号

(74) 指定代理人 工業技術院物質工学工業技術研究所長

(54) 【発明の名称 】 両末端反応性高分子化合物及びその製造方法

(57)【要約】

【構成】ボリスチリルジアニオンに2-ヨードエチルビ ニルエーテルを直接反応させて得られる

[化1]

 $\mathsf{CH}_2 = \mathsf{CHOCH}_2 \mathsf{CH}_2 \left(\underbrace{\mathsf{CHCR}_2}_{\mathtt{3-1}} \right)_{\mathtt{3-1}} \left(\mathsf{CH}_2 \underbrace{\mathsf{CH}}_{\mathtt{3-1}} \right)_{\mathtt{6-1}} \mathsf{CH}_2 \mathsf{CH}_2 \mathsf{OCH} = \mathsf{CH}_3$

(nは正の整数を示す。) で表される両末端反応性高分 子化合物及びその製造方法。

【効果】カチオン重合能を有することから機能性ブロッ ク共重合体用成分として利用できる。接着剤、ラッカー などに少量混ぜることにより塗験の強度、耐水性などを 向上させる。

Best Available Cop

特買平5-301914 (2) 2 * {化1] (特許語求の範囲) * $\mathsf{CH}_2 = \mathsf{CHOCH}_2 \mathsf{CH}_2 (\mathsf{CHCH}_2)_{n+1} (\mathsf{CH}_2 \mathsf{CH})_{n+1} \mathsf{CH}_2 \mathsf{CH}_2 \mathsf{OCH} = \mathsf{CH}_2$ (請求項1]式 ※(nは正の整数)で表されるポリスチリルジアニオン化 (nは正の整数を示す)で表される两末端反応性高分子 2-ヨードエチルビニルエーテルを反応させることを特 化合物。 [請求項2] 数平均分子量が3000~110000で 徴とする # ある請求項1記載の両末端反応性高分子化合物。 [化3] (部水項 3 】式 ({t2] $\text{Ma}^+\text{-}\text{C}^-\text{HCH}_2\text{(CHCH}_2\text{)}_{\text{B}}\text{(CH}_2\text{CH)}_{\text{B}}\text{CH}_2\text{C}^-\text{H}\text{-}\text{Ma}^+$ × $\texttt{CH}_2 = \texttt{CHOCH}_2 \texttt{CH}_2 (\texttt{CRCH}_2)_{n+1} (\texttt{CH}_2 \texttt{CH})_{n+1} \texttt{CH}_2 \texttt{CH}_2 \texttt{OGH} = \texttt{CH}_2$ \bigcirc

(mは前記と同じ意味を示す)で表される両末端反応性 商分子化合物の製造方法。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は新規な両未端反応性高分 子化合物及びその製造方法に関するものである。さらに 詳しくいえば、本発明はポリスチレンの両末端に容易に 反応するビニロキシエチル基を有する両末端反応性高分 子化合物及びその製造方法に関するものである。

[0002]

[従来の技術] とれまで、ビニルエーテル基を有する単 量体を重合して得られる商分子化合物は、接着剤、ラッ カー及びエナメル、紙及び繊維製品、ラテックス、怒光 性樹脂、などを利用する産業分野において広く利用され ているビニルエーテル基を有する単量体は数多く知られ ているが、技術の進歩に対応してより高機能を有する単 **赴体が一層求められている。とのような要求に対処する** ために、2-クロルエチルビニルエーテルを出発原料と して色々な磷能性単弦体が合成されている。 しかしなが **ら、2-クロルエチルビニルエーテルはそのクロルエチ** ル基の反応性が低いため、これを用いた機能性単重体の 合成はエステル化などのどく限られた方法だけであっ た。他方、近年高分子の末端に反応性のビニル基を有す る化合物がマクロマーとして注目されている(R. Mi lkovichら、米国特許第3842050号明細 营、同第3842057号明細書、同第3842058★

★写明細書、同第3842059号明細書)。 このものは アルキルリチウム化合物を無合開始剤としてスチレン単 量体を重合末端を活性に保ったまま重合させ、との活性 な未端にジフェニルエチレン、エチレンオキシドなどの 化合物を反応させ、との反応性が制御された末端にクロ ルアルキル基を有するビニル化合物のクロルアルキル基 部位を反応させるととによって得られるものである。

[0003]

[発明が解決しようとする課題] このように、クロルア ルキル基を有するビニル化合物を反応性がきわめて高い リビングポリスチリルアニオンに反応させるには、その 末端の反応性を制御する必要がある。本発明は、とのよ うな従来のポリスチレンの末端に反応性を制御しうる特 定化合物を介在させたタイプとは全く異なる、該末端に 直接ビニロキシエチルが導入された新規な両末端反応性 高分子化合物を提供するととを目的としてなされたもの

[課題を解決するための手段] 本発明者は、このような 新規な両末端反応性商分子化合物を開発するために鋭意 研究した結果、リピングポリスチリルアニオンの末端の 反応性を制御することなく、末端反応試剤を敬良すると とにより直接反応させることに成功し、本発明をなすに 至った。すなわち、本発明は

[124]

 $\mathsf{CH}_2 = \mathsf{CHOCH}_2 \mathsf{CH}_2 (\mathsf{CHCH}_2)_{n+1} (\mathsf{CH}_2 \mathsf{CH})_{n+1} \mathsf{CH}_2 \mathsf{CH}_2 \mathsf{OCH} = \mathsf{CH}_2 \quad (1)$

(mは正の整数を示す) で表される両宗端反応性高分子 化合物及び

式 (化5)

Rest Available Copy

特買平5-301914 (3) $Na^{+-}C^{-}HCH_{2}(CHCH_{2})_{n}(CH_{2}CH)_{n}CH_{2}C^{-}H^{-}Na^{+}$ (2)

(mは正の整数) で表されるポリスチリルジアニオンに 2-ヨードエチルビニルエーテルを反応させることを特 (化6) 徴とする

 $\text{CH}_2\text{=CHOCH}_2\text{CH}_2\text{(CHCH}_2\text{)}_{n+1}\text{(CH}_2\text{CH)}_{n+1}\text{CH}_2\text{CH}_2\text{OCH}\text{=CH}_2 \quad (1)$

(nは前記と同じ意味を示す) で表される両末端反応性 高分子化合物の製造方法を提供するものである。上記式 (1) の化合物は文献未載の新規物質であり、中でも特 に数平均分子虚が3000~110000であるものが 好ましい。本発明化合物は、上記式(2)のポリスチリ ルジアニオンに2ヨードエチルビニルエーテルを反応さ せることにより得られる。 このポリスチリルシアニオン は、スチレンを溶媒に溶解して溶液とし、とれを芳香族 性化合物を溶媒に溶解した溶液にアルカリ金属を加えて 20 得られる重合開始剤で処理することにより得られる。こ の処理温度は−100℃~60℃、好ましくは−80℃ ~40℃の範囲が選ばれる。また、上記溶媒としては、 テトラヒドロフラン、ジオキサン、エチレングリコール ジメチルエーテルなどの非プロトン性溶媒が好ましい が、これに限定されるものではない。このようにして得 られたポリスチリルジアニオンの溶液に所定量の2-3 - ドエチルビニルエーテルを溶媒に溶解した溶液を加え て反応させたのち、得られた溶液にアルコールや炭化水 素などの媒体を加えることにより、所望の商分子化合物 が沈豫物として得られる。本発明方法の好適な具体例と しては、高英空中又は不活性ガス雰囲気中において乾燥 したスチレンのテトラヒドロフラン溶液を調整し、との 溶液を所定温度として、高真空中又は不活性ガス雰囲気 中において精製したナフタリンを乾燥したテトラヒドロ フランに溶解した溶液に金属ナトリウムを加えて調整し た食合開始剤溶液を不活性ガス雰囲気下に注射器などで 注加するか、あるいは裔真空中にブレークシールを介し で加える。直ちに重合開始和溶液の色は張緑色から赤ビ ンクに変化し、速やかに重合が完了する。とのようにし て得た諮詢に多量のメタノールなどの低級アルカノール 又はnーヘキサンなどの飽和脂肪族炭化水素を加えると 所望の高分子化合物が沈毅する。得られた高分子化合物 をろ取し、乾燥する。両末端のビニル基はヨウ素滴定に より解析される。

(0004)

【実施例】次に本発明を実施例により詳細に説明する。 実施例 1

ナフタリンナトリウムのテトラヒドロフラン溶液(0. 0095M) 50mlを20℃に保ち. これにステレン 50 トラヒドロフラン溶液40mlを加えた。30分後、2

2. 6gを含むテトラヒドロフラン溶液10m1を加え た。添加と同時に溶液は濃い緑色から赤ビンクに変化 し、すみやかに重合が完了した。30分後、2-ヨード エチルビニルエーテル1、6gを含むテトラヒドロフラ ン溶液10mlを添加すると溶液の色は赤ピンクから無 色に変化した。得られた溶液を少量のトリエチルアミン を含むメタノール400mlに注加するとポリマーが得 られた。このポリマーをろ取し、乾燥すると2.6gの ボリスチレンが得られた。とのものについて、ゲルバー ミエーションクロマトグラフィーから求めた分子量分布 は1、3であり、蒸気圧浸改圧法により測定した数平均 分子量は約3000であった。両末端のビニル基をヨウ 素箇定により解析したところ百分子両末端に導入された ビニル基は100%であった。

実施例2

ナフタリンナトリウムのテトラヒドロフラン溶液(0. 0045M) 10m1を−78℃に冷却した10mlの テトラヒドロフラン溶媒に加え10分間攪拌した。 との 溶液を−78℃に保ち、とれにスチレン3.5gを含む テトラヒドロフラン溶液15mlを加えた。添加と同時 に溶液は濃い緑色から赤ピンクに変化し、すみやかに重 合が完了した。30分後、2-ヨードエチルビニルエー テル1.8gを含むテトラヒドロフラン溶液10m1を 添加すると溶液の色は赤ピンクから無色に変化した。得 られた溶液を少量のアンモニヤを含むメタノール500 mlに注加するとポリマーが得られた。 このポリマーを ろ取し、乾燥すると定量的にポリスチレンが得られた。 **とのものについて、ゲルバーミエーションクロマトグラ** フィーから求めた分子量分布は1.3であり、蒸気圧浸 透圧法により測定した数平均分子量は約40000であ った。両末端のビニル基をヨウ素滴定により解析したと **ころ高分子両末端にビニル基が定量的に導入されたこと** が確認された。

実施例3

ナフタリンナトリウムのテトラヒドロフラン盗液(0. 0043M) 6.7mlを−78℃に冷却したテトラヒ ドロフラン30mlに加え、15分間投搾した、との答 液を−78℃に保ち、これにスチレン6.6gを含むテ

PAGE 31/50 * RCVD AT 8/4/2006 4:12:59 PM [Eastern Daylight Time] * SVR:USPTO-EFXRF-3/16 * DNIS:2738300 * CSID:202 293 6229 * DURATION (mm-ss):14-16

(4)

特開平5-301914

ーヨードエチルビニルエーテル1.8 sを含むテトラヒドロフラン溶液10mlを添加すると溶液の色は赤ビンクかち無色に変化した。得られた溶液を少量のアンモニヤを含むメタノール800mlに注加するとボリマーが得られた。このポリマーをろ取し、乾燥すると定量的にポリスチレンが得られた。このものについて、ゲルバーミエーションクロマトグラフィーから求めた分子量分布は1.3であり、蒸気圧浸透圧法により測定した数平均分子量は約110000であった。

(発明の効果)本発明の両末端反応性高分子化合物は、カチオン進合能を有することから機能性ブロック共至合体用成分として利用でき、また接着剤、ラッカー及びエナメル、ラテックス、感光性樹脂、などに少量温ぜることにより塗膜強度や耐水性などの性能を向上させ、また紙及び繊維製品用処理剤などを利用する産業分野に好遺に用いられることはもちろん、薬剤の徐放用材料、高分子作用素子、感熱性高分子などの合成原料としても好遠である。

Rest Available Copy

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number :

05-301914

(43)Date of publication of application: 16.11.1993

(51)Int.Cl.

COSF 8/00 // CO8F299/00

(21)Application number: 03-077194

(71)Applicant : AGENCY OF IND SCIENCE &

TECHNOL

(22)Date of filing:

18,03,1991

(72)Inventor: WATANABE SHOJI

(54) POLYMERIC COMPOUND REACTIVE AT BOTH TERMINALS AND ITS PRODUCTION

(57)Abstract:

PURPOSE: To obtain a new compound having cationic polymerization activity and useful as a component of a functional block copolymer to be compounded to an adhesive, etc., to improve the water-resistance, etc., of the adhesive by reacting a polystyryl dianion with 2iodoethyl vinyl ether.

CONSTITUTION: The objective polymer compound of formula II having a number- average molecular weight of 3,000-110,000 can be produced by reacting a polystyryl dianion of formula I n is positive integer) with 2iodoethyl vinyl ether and adding a medium such as an alcohol to the obtained solution.

J

 $\mathsf{CH}_2 = \mathsf{CHOCH}_2 \mathsf{CH}_2 (\mathsf{CHCH}_2)_{n+1} (\mathsf{CH}_2 \mathsf{CH})_{n-1} \mathsf{CHoch}_2 \mathsf{DCH} = \mathsf{CH}_2$

11

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

18.03.1991

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

1956706

10.08.1995

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection] [Date of extinction of right]

Post Available Cop

* NOTICES *

JPO and NCIP1 are not responsible for any damages caused by the use of this translation.

1. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original precisely.

2.**** shows the word which can not be translated.

3.In the drawings, any words are not translated.

			_
CL	A 1		c
1 71	-	w	O

[Claim(s)]

[Claim 1] Formula [** 1]

 $\texttt{CH}_2 = \texttt{CHOCH}_2 \texttt{CH}_2 (\texttt{CHCH}_2)_{n+1} (\texttt{CH}_2 \texttt{CH})_{n+1} \texttt{CH}_2 \texttt{CH}_2 \texttt{OCH} = \texttt{CH}_2$

It is the both-ends reactive polymer compound expressed with (n shows a positive integer). [Claim 2] The both-ends reactive polymer compound according to claim 1 whose number average molecular weight is 3000-110000.

[Claim 3] Formula [** 2]

Na+-C-HCH2(CHCH2) n(CH2CH) nCH2C-H-Na+

(n is a formula [** 3] characterized by making 2-iodine ethyl vinyl ether react to the poly styryl dianion expressed with positive integer).

 $\mathsf{CH}_2 = \mathsf{CHOCH}_2 \mathsf{CH}_2 (\mathsf{CHCH}_2)_{n+1} (\mathsf{CH}_2 \mathsf{CH})_{n+1} \mathsf{CH}_2 \mathsf{CH}_2 \mathsf{OCH} = \mathsf{CH}_2$

It is the manufacture approach of a both-ends reactive polymer compound expressed with (n shows the same semantics as the above).

[Translation done.]

Rest Available CODV

JPO and MCIP) are not responsible for any designs caused by the use of this translation.

I. This document has been translated by computer. So the translation may not reflect the original

pressety.
2.0000 shows the word which can not be translated.
3.in the drawings, any words are not translated.

DETAILED DESCRIPTION

[Detailed Description of the Invention]

[0001]
Industrial Application] This invention reletes to a new both-ends reactive solymer compound
and its manufacture septembri. If it says in more detail, this invention relates to the both-ends
reactive polymer compound which has the BUNROKISH strol group which resets to the both
ends of polystoraes sayily, and its manufacture approach.
[0002]

conto el polystyrene sasily, and its menufacture appresent.

[0092]
[Description of the Prior Art] Although meny monomors which have the vinyl other radioal for which the high molecular connected obtained by carrying out the polymerization of the monomors which has a vinyl other radioal until movie wideby used in the industrial field vieng achievance, tecures and an enumely opener and textifies, a lates, a photopolymen, etc. etc. are known, the monomor which has high officiency more corresponding to an advance of a toolvinuse is called for further, in order to oppe with such a demand, furnishment of the functional monomers which has high officiency more corresponding to an advance of a toolvinuse is called for further, in order to oppe with such a demand, functional monomers when as a betty case materials are compounded in A-RURGRU othyl viryl ather. However, since 2+(URGRU ethyl viryl other had the low resociately of the Kird stript group, composition of the functional monomor using this was only approaches a restream viryl group at the end of a giant molecule in recent years attracted which has a rescent viryl group at the end of a giant molecule in recent years attracted as misconders (R. Mikovich et al., a US. Pat No. 286205 appecification, a 3842051 pecification. A service of the compound which has a performance, maintaining a polymenization and contributive, and contributive, and contributive and and making the MIRORU allyl group part of the whyle compound which has the Kirol shyll group react to the end by which this rescriptivity was contributed.

[0003]
[Problem(s) to be Solved by the Invention] Thus, in order to make the viryl corpound which has the Krol skyl group neet to a siving poly skyr) anion with very high reactivity, it is necessary to control the reactivity of the end. This invention is made for the purpose of effecting a completely different new both-words resultive polymer compound from the type between which the specific compound which one control reactivity at the end of such conventional polysupress was made to be pisced with which drest BURKOKSH withy was invended into this end.
[Megens for Solving the Problem] Without controlling the reactivity of the end of a firing polysupress as a result of longing who behave tools, in order to develop such a new both-made made to polymer compound, by inserving on end reaction agent, this invention person succeeds in corrying out a different color, and came to enable this invention. That is the invention is a formal file of the polymer compound.

Charceodyces(dice)***(crada)***(crada)***(crada)**(crada)**(crada)***(crada)***(crada)***(crada)***(crada)***(crada)***(crada)***(crada

It is the both-ends resolve polymer compound and formula [44 5] which are expressed with (n

http://www4.jedi.nojpi.go.jp/eg-bln/tran_wwb.og.ello

2008/07/28

JP.05-301814.A [DETAILED DESCRIPTION]

3/3 ページ

pink, and the polynderization was completed you to be Surriys. Addition of 10ml of tablehydrofrem natitions containing 2-dodine study-hydryf-spher 1.8g changed the color of a solution from red plink to coolensaries after 30 minutes. The polynder was obtained when the obtained solution may be confident to the mediant of the selection of the selection of the desiration of the polynder was obtained duralitation. The emiceute weight desiration sourched for from get permantion chromatography about this thing ways 1.3 and the number average melecular weight measured by ventry pressure commentry was about 40000 when the viryl group of both ands was analyzed with the indometry, it was chucked that the viryl group had been quantitatively introduced into gent-molecule both ends. Addition of 10ml of testing the pressure commentry was about 40000 assembled as polynderic about the color of a stangle 3 mentitables sociam for 15 minutes in addition to tetrahydrofram addition of tetrahydrofram addition of the stangle of the second of the

[Translation done]

chows a positive integer)

13--C-80112(QCB2)+(UllyQI)+(UllyCI-8-85-4 (2) 0 0 0

(A is a formula (sm 6) characterized by making 2-lodine othyl viryl either react to the poly staryl diselon expressed with positive integer).

CB+CROCI-CRO(LECBs) = (CB)(CB), = (CB)(CB), = (CB)(CB)(CB-CB) (1)

The manufacture approach of a both-ands reactive polymer compound expressed with (n shows the same general and the shows) is offered. The compound of the above-mentioned formula (1) is the new matter of reference non-ex, and that [kg] whose number everage male locals a world is 3000-110000 also expectably in said la desirable, this invention compound is obtained by making 2 indices attribute the poly ctyryl dearlies necessary and that (2). This poly styryl dearlies discovered systems in a solvent, consistent as a colution, and is obtained by processing shall make by the polymerization which desavined the aromaticity compound for this in the solvent, and obtained in the solvent which desavined the aromaticity compound for this in the solvent, for this processing temperature.—100 degrees C — 40 degrees C of the range of =80 degrees C — 40 degrees C are chosen proferably. Moreover, so the above-mentioned ablorat, abrituary sproving solvents, and this solvent great and the solvent of the solvent of the obtained poly styryl dearlies and to this. Thus, after making the estation which desavined 2-indice styly evil other of the solvent of the processing of the solvent of the sol

of hoth winds 18 shapped by the subclinity. (GODA)

[Exemple] Next, an example applicants this invertion to a data?

[Exemple] Next, an example applicants obtained of according 1 rephthelians sodium was kept at 20 degrees C, and 10ml of tetrahydrofuran solutions of according 1 rephthelians sodium was kept at 20 degrees C, and 10ml of tetrahydrofuran solutions which contain styrene 2.6g is this was added. The solution shanged from deep groot to addition and obtainded as a red pith, and the polymerization was consisted you to be Surriya. Addition of 10ml of tetrahydrofuran solutions containing 2-lodine ethyl-inhylamber 1.6g changed the color of a solution from edplinit to colorizations after 30 minutes. The polymer was obtained when the obtained solution was abused but on med-lend of the colorization and the colorization was exacted by an end-lend containing fitted by the properties. When this obtained we extend of all diseases the colorization assertabled for from gall permeation chemistry by should the time year 1.1 and the markhed average molecular weight measured by vapor precious commentry was abust 3000. When the sking group of both ends was consisted with the indonestable toth and was 10ml tetrahydrofuran addition to the 10ml tetrahydrofuran solvent cooked at -78 degree C, 10ml (0.004549 of tetrahydrofuran autotions of example 2 maphtheliams solution was solution was kept at -70 degrees C, and 15ml of tetrahydrofuran solutions which contain atyrene 3.5g in this was added. The abustion changed from deep green to addition and calcinitations of

htts://www4.lpdLncipi.go.jp/cgirlpin/trans/wab_ngi_cjic

Rest Available Copy